

## 奥穂南稜 山行報告

(山域) 北アルプス南部

(コース) 奥穂南稜

(日時) 7月28日(夜)~7月30日

(天候) 晴れ

(参加者) CL 松原、SL 前田、樋口、萱野(香)、室(達)

(山行タイム)

7月28日(土)

19:00 ちば山事務所→前夜祭→就寝

7月29日(日)

3:30 起床→4:00 出発→8:00 沢渡駐車場→9:00 河童橋→11:00 岳沢小屋→奥穂南稜取付き確認  
→14:00 宴会→就寝

7月30日(月)

2:30 起床→3:30 出発→6:15 トリコニー1 峰基部→8:40 南稜の頭→吊尾根→重太郎新道→12:00  
岳沢小屋→15:40 河童橋→16:40 沢渡駐車場→18:00 諏訪湖 SA 温泉→帰葉

(山行報告)

5月頃から計画していた北岳バットレス第四尾根。梅雨明け直後の好天を狙って、7月末に土曜日から月曜日の3日間を予定していました。しかし、今年の関東の梅雨明けは6月30日と早く、梅雨が明けてからはずっと晴れ続き。月末も同じ調子で晴れてくれればよいところを、28日(土)に台風が上陸。この台風は一般的な台風と違い東から西へ進路をとり、伊豆に大きな被害をもたらした。この台風のおかげで我々の北岳バットレスの計画は中止となった。少し忙しい行程に変更すれば北岳バットレスに登ることもできなくはなさそうだが、無理はせずに計画を変更することにした。

代替案は3つ、①奥穂南稜またはコブ尾根、②谷川岳の岩壁、③小川山。アンケートの結果、①の奥穂南稜に決定した。奥穂南稜には1年前に前田さんと登っている。穂高で割と気軽に岩稜に登る事が出来て、気持ちの良いルートだった。今回も好天に恵まれて気持ちよく、またメンバーが増えて楽しく登ることができました。

7月28日(土)

台風が接近している。道路が荒れてしまってメンバーの合流に支障が出るのが無いよう、前日のうちにちば山の事務所に集まって、翌日の早朝に出発することにした。本当は、みんなそろって前夜祭で飲みたいというのが前夜泊の大きな理由だ。思惑通りにみんな楽しく飲む事が出来た。楽しすぎたために、会のテントを借りるのを忘れた。



前夜祭、真面目な話をしているのか？



沢渡でタクシーに乗車



河童橋から岳沢を眺める

7月29日(日)

3:30起床、4:00出発、事務所の最寄りのセブンイレブンに寄って京葉道路の幕張インターへ。6:50頃に松本インター到着。再びセブンイレブンに寄って朝食や行動食などを購入。8:00前に沢渡駐車場到着。沢渡から上高地までバスかタクシーかどちらを利用するか悩んでいたが、5人乗りのタクシーを利用できるとのことで、タクシーの方が安い。タクシーのトランクに収まりきれない荷物をゴムでおさえてタクシーに乗車、20分ほどで上高地バスターミナルに到着。身支度を整えて出発。河童橋で岳沢を眺めるが、ガスがかかっていて南稜はよく見えなかった。

河童橋から、休憩を少し含めて2時間程度で岳沢小屋に到着。まずはテントを設営。会のテントを借り忘れたが、松原のテントを車に積んであったので、これとツェルトの2張りを張った。テント場のスペースが広くとれなかったため、会の大きなテントよりも小さめのテントの方が都合よかったかもしれない。

テントを設営した後は奥穂南稜の取付き確認へ。雪渓を歩くので軽アイゼンとアイスバイルを持って出発。テント場のすぐわきの沢を登ってゆくとすぐに雪渓。右側から雪渓に乗り少し登ってから右岸にいったん降りた。雪渓は中間部で切れている。上部の雪渓は、雪渓の左側のきわを歩けるし、雪渓の上を歩いても途中で右岸に容易に渡れる部分がある。雪渓の上部末端が大滝。大滝のすぐ左のルンゼをつめると南稜に取り付く。今日は雪渓の上部末端付近まで登って取付き確認終了。帰りがけに、翌日に軽アイゼンとバイルを持たなくて済むように、バイルを使って雪渓にステップを刻んだ。30分位の作業だったか、納得のいくまでいくつも掘った。

岳沢小屋に戻って生ビールで乾杯、お酒を飲ま



岳沢小屋のテント場



雪渓にステップを刻む



岳沢小屋のテラス



移動してお昼寝

ない室君はお手製のレモネード。各々が持ち寄ったおつまみや、食担の萱野さんが用意してくれたサラダを食べながら、小屋の脇のテラスでしばらく飲んだ。そのうちに時間を持て余してきてしまい、場所を移動して仕切り直し。玲さん・萱野さん・室君はお昼寝、前田さんと松原はだらだらと飲み続けた。その後、もう一人の食担である前田さんが作った麻婆ナスを食べた記憶はある。

7月30日(月)

2:00 起床の予定が 2:30 起床。朝飯や身支度など整え、テント場でガチャガチャつけて 3:30 に出発。夜明け前にヘッドランプでの雪渓歩きを不安に思っていたが、前日のステップ工作のお陰ですんなりと通過できた。4:00 過ぎに大滝の左のルンゼに入る、まだ辺りは真っ暗。ルンゼをしばらくつめると 3 つ又のルンゼに行きつく。我々はなんとなく一番すっきり登れそうな一番右のルンゼを選んで登った。辺りはだいぶ明るくなってきており、遠くの山には日の光が当たり始めている。草付きからヤブ漕ぎになり、ハイマツをくぐったり露岩を登ったりしながらしばらく進む。休憩したいという声をやりわりと退け、トリコニー1 峰直下まで一気に登った。ここで 30 分程休憩。各々パンを食べたり水を飲んだりしている。止まっていると寒かったが、6:30 頃に我々のいる場所にも日が当たった。暖かくなってきて快適に休憩していたが、眠くなってしまったので出発することにする。トリコニー1 峰の出だしはらせん階段、一人ずつぐるぐると登り、ちょっとしたギャップを飛び越える。その後、1 峰の頂上



アプローチ、雪渓上部



ヤブと露岩



トリコニー1峰基部、日の出



トリコニー1峰、らせん階段入口

直下が悪く、ここを先頭で登った前田さんが上からロープを垂らしてくれたので、他のみんなはロープで確保されて登った。登れば1峰頂上。特に頂上を意識することもなく先へ進む。やや下ってからさらに登るとすぐに2峰の頂上、ここもあまり意識しないで通過。3峰は頂上を踏まずに右を巻いて通過。その先は岩稜になっているが、特に難しい部分はなく、ぐいぐいと登ってゆく。途中で振り返るとトリコニーの岩峰が3つ並んでいるのが見える。岩稜の末端で短い懸垂下降をし、その先は草原とガレの混じった斜面、吊尾根を歩く登山者の姿がずいぶん



トリコニー1峰頂上



懸垂下降の準備



南稜の頭までもう少し



南稜の頭

近くなってきた。高山植物を踏まないようにやや気を使いながらだらだらとしばらく登り、8:45頃に南稜の頭に到着。お疲れ様でした。

よく晴れていて素晴らしい景色だ。奥穂の山頂はすぐそこなので、前田さんと室君と私の3人は空荷でピストンすることにする、玲さんと萱野さんは荷物番。奥穂の山頂でしばらく景色とさきイカを楽しんだ。南稜の頭に戻ってからまた少し休憩をとり、9:30頃出発、吊尾根を前穂方面へ。10:30前に紀美子平に到着。ここで先ほど登ってきた南稜を眺めて感嘆した。少し休憩をしてから室君は北穂の山頂へ、他の4人は重太郎新道へ、岳沢小屋で合流することにする。重太郎新道を進むほどにむしむしと暑くなってくる。鎖やはしごを交えつつ下って12:30岳沢小屋へ到着。少しすると意外と早く室君も到着、小走りしてきた。暑い中でしばらく休憩してから撤収・下山。

河童橋には15:40到着。早起きしたおかげで帰りのバス・タクシーには余裕でした。河童橋の売店でソフトクリームや炭酸水を楽しみ、お土産を購入したりした。帰りもタクシーのトランクに収まりき



河童橋でソフトクリーム

らない荷物をつめて上高地にさようなら。タクシーの運転手は陽気な雰囲気な人で、前席に座った萱野さんと前田さんと楽しそうに会話していた。

沢渡から出発して高速に乗り、松本インターから 30 分程にある諏訪湖 SA に寄って「ハイウェイ温泉諏訪湖」で入浴。その後フードコートで食事をしてから帰葉した。

奥穂南稜は北岳バットレスに比べてクライミングの要素が乏しく、満足のいく山行でなかったようにも思いましたが、皆さん楽しかったと言ってきて嬉しく思いました。楽しい山行をありがとうございました。



**ハイウェイ温泉諏訪湖**